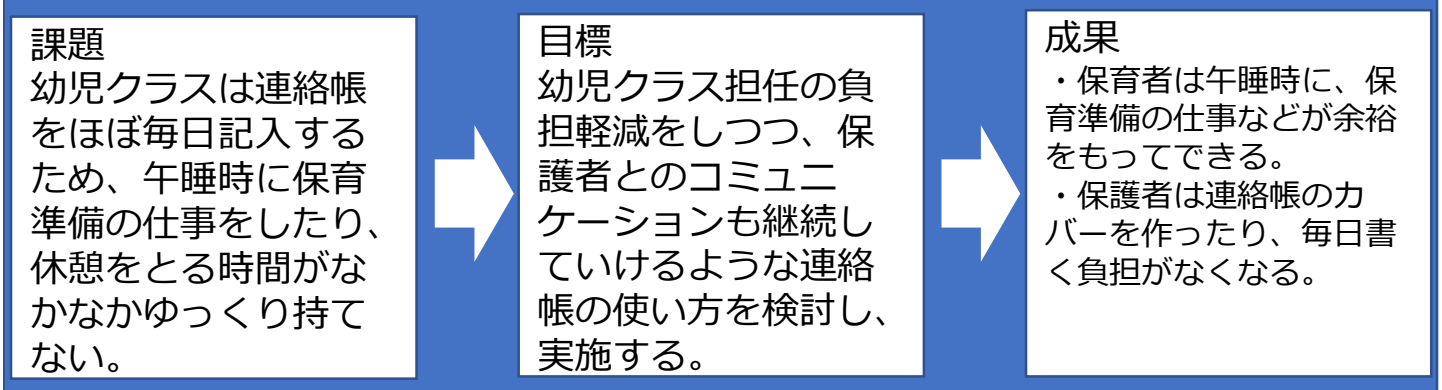


園名 八幡保育園

事例分類 幼児クラス担任の負担軽減と保護者とのコミュニケーション

■サマリー： **メリット・負担の両面を考え効果を最大化する折衷案を考える**



課題の意図・詳細説明

同系列の5園は幼児クラスもほぼ毎日連絡帳で保護者とのやり取りをし、記入している。家と園の様子が分かり、良好なコミュニケーションには大いにつながっていると思うが、特に幼児クラスは午睡時の仕事を連絡帳記入にとられるため、十分な保育準備が出来ない。保護者は連絡帳のカバー作りや毎日書かないといけないと思っている人には負担があると考える。

目標の意図

連絡帳を全くなくすのではなく書く日数を減らし、コドモンを活用することで、家庭と園の様子も互いに知らせつつ、保育者の保育準備時間が増える。幼児クラスとともに0歳児から全クラス連絡帳の見直しをし、大切な部分は残しつつ、保育者保護者共に負担軽減を図る。

具体的な取り組み 12月

5園の主任・副主任・担当園長が集まる「働き方改革リーダー会議」で幼児クラスの連絡帳に対する負担軽減の案が出る。
幼児クラスの担任がほぼ毎日手書きで子供の様子を書き(時折パソコンで写真付きの様子を作り連絡帳に貼っている)、午睡時の時間を大幅に使っている。保育準備や休憩の時間が短くなるという課題が見つかる。
しかし、どんな風にしていきたいのか大まかなことは決まったが、具体的なことは決まらなかった。

負担軽減の案→幼児クラスの現在の連絡帳を廃止。市販のものを使う。

具体的な取り組み 1月

自園では、保護者とのコミュニケーション、保護者の負担や乳児クラスの連絡帳も改めて見直し、
どういう風にしていくのが良いのか考えていった。

今は5園専用ノートがあり、子どもたちが自分のが見て分かりやすいという理由で、保護者に連絡
帳のカバーを作ってもらっているが、市販の連絡帳を活用してもいいのでは？ そして0歳児の連
絡帳は大きく1日の詳しい時系列を書くようになっているが、保護者と保育者の互いの負担面を考
え、現在書いている項目が入っている市販のものを使ったら良いのでは？と考えた。

1～5歳児の連絡帳



白表紙に保護者が布をつ
けたカバー



0歳児の連絡帳



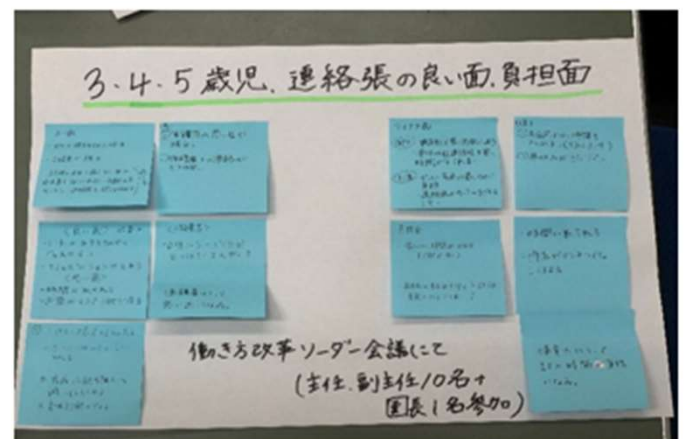
具体的な取り組み 2月

働き方改革リーダー会議においてまず初めに、改めて連絡帳の良い面負担面を5園の主任副主任
に出してもらい、それをふまえて詳細を話し合い、決定していくように会を進めた。

結果、良い面を継続していけるようにしながらも大幅な負担軽減になるような連絡帳の使い方に決定
した。

働き方改革リーダー会議

良い面～園や家の様子をお互いに伝え
やすい。保護者にとって思い出になる。
負担面～全員分書くのに時間がかかる。
保護者も書くことや表紙作りに負担があ
る。



この事例検討様式を活用しながらやっていくことで、どういう経緯で改革していったかが見て分かりやすく、5園
の職員皆で共通認識の元、新たにスタートできると思った。

最後に、提案が出ている他の課題を今回行ったようにしっかりと話し合いながら、子どもや保護者、職員それ
ぞれの事を考え、前向きに働き方改革を行っていきたい。